

自然と文化科 活動記録 「歴史文化散策」

日時	2025年9月12日(金)10:00～14:40	担当
場所	上ノ太子駅 → 叡福寺・聖徳太子磯長陵 → 西方院 → 用明天皇陵 → 推古天皇陵 → 太子町役場 → 竹内街道 → 上ノ太子駅	文・写真 :篠田富子
備考	参加者数62名(1班18名、2班18名、3班15名、4班15名)	天候:晴れ

太子町には6世紀末から7世紀中頃までの古墳時代終末期の古墳が集中している。これらの古墳は磯長谷古墳群とも呼ばれ、その多くが、天皇・皇族級の大古墳が多いことから別名「王陵の谷」とも呼ばれている。

今回は「太子街人の会」ボランティアの方の案内で古墳群の一部を歩きました。
上ノ太子駅から歩くこと40分で、和みの広場に着く。広場では松井塚古墳石室や尼ヶ谷古墳石室、聖徳太子墓石室 模型(1/6サイズ)を見学した。

叡福寺、聖徳太子磯長陵

叡福寺は聖徳太子ゆかりの寺院で上の太子と呼ばれる。また法隆寺、四天王寺とともに、太子信仰の中核となった寺でもある。境内の奥には、聖徳太子の御廟(磯長廟)が祀られている。御廟は丘陵の南斜面に 築造された円墳で墳丘は二重の結界石により保護されている。太子と穴穂部間人皇女(母)膳郎女(妃)の3人の棺が納められていると伝えられ「三骨一廟」と呼ばれている。



「西方院」にて昼食。

用明天皇陵

聖徳太子の父親であり 第31代用明天皇陵は方墳で磯長原陵と呼ばれる。
墳丘 規模や形は 石舞台古墳とよく似ているようだ。



推古天皇陵

日本で初めての女帝第33代推古天皇陵は磯長山田陵と呼ばれる。
東西に長い三段築城の方墳。
古墳の周りは稲穂が実った 田園風景が広がっていました。



太子町役場で解散後、竹内街道を歩き上ノ太子駅へ。
(9月も半ばだというのに…)猛暑の中、最後までよく歩きました。
皆様お疲れ様でした。